

I-3 ワーク・ライフ・バランスって?

【エピソード】

共働き夫婦であるAさんは、毎日残業ばかりで、家に帰ってくるのは、夜10時を過ぎていきます。Aさんの気持ちは、「残業続きで疲れるし、子どもと遊べない。もっと、自己研さんをしたいけど、時間がない。……」AさんのパートナーのBさんも仕事をしていますが、家事と育児はBさんが中心です。Bさんの気持ちは、「子どもが病気のときは、いつも私が保育園に迎えに行っている。近所に知り合いもいないし、どうしようか。……」

ワーク1

- 各自回答欄に、結婚をした場合に自分で行うものには「1」を、パートナーと協力して行うものには「2」を、パートナーに行ってもらうものには、「3」を付けましょう。

質問項目	回答	ふりかえり後の回答
<input type="checkbox"/> 料理をつくる	【 】	[]
<input type="checkbox"/> 洗濯をする	【 】	[]
<input type="checkbox"/> 部屋を掃除する	【 】	[]
<input type="checkbox"/> ゴミを出す	【 】	[]
<input type="checkbox"/> 家計を管理する	【 】	[]
<input type="checkbox"/> 食料品や日用品の買い物に行く	【 】	[]
<input type="checkbox"/> 子ども（乳幼児）を保育所・幼稚園へ送迎する	【 】	[]
<input type="checkbox"/> 子ども（乳幼児）の遊び相手をする	【 】	[]
<input type="checkbox"/> 子ども（乳幼児）を風呂に入れる	【 】	[]
<input type="checkbox"/> 子ども（乳幼児）を寝かしつける	【 】	[]
<input type="checkbox"/> 子ども（乳幼児）に食事をさせる	【 】	[]
<input type="checkbox"/> 子ども（乳幼児）のおむつを替える（下着を替える）	【 】	[]

ワーク2

- 次の「男女がともに家事、子育て、介護、地域活動などに参加するために必要なこと」の表を見て、考えたことをグループで話し合ってみましょう。

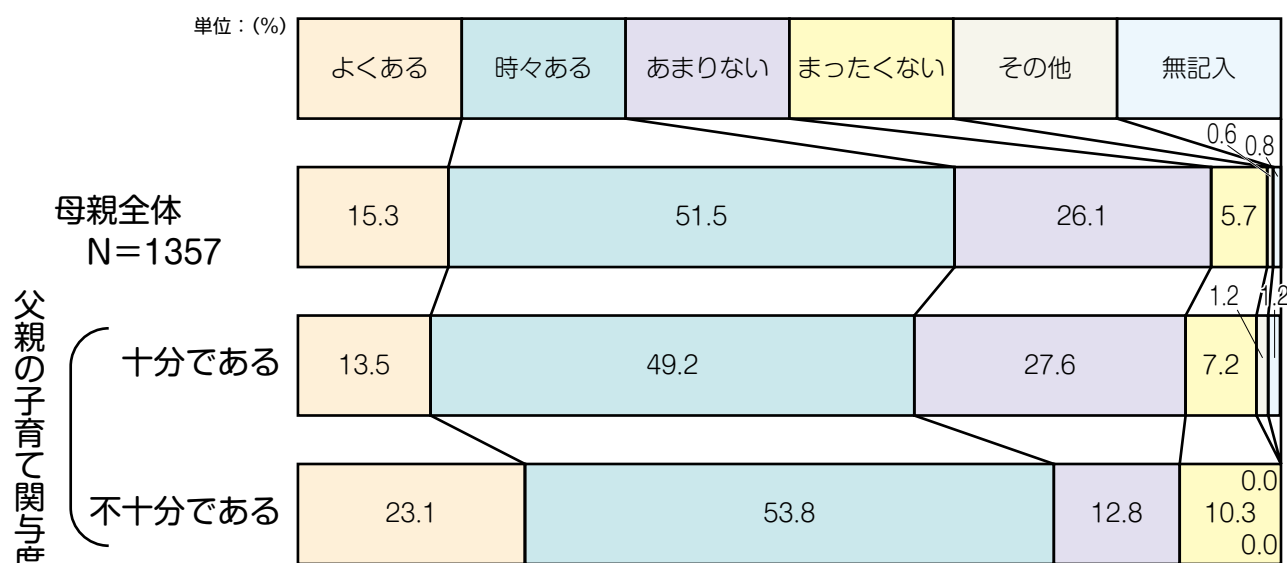
	1 位	2 位	3 位
女 性	20代 労働時間短縮や休暇制度を普及させる	夫婦の間で家事などの分担をするよう十分に話し合う	男性が家事などに参加することに対する抵抗感をなくす
	30代 労働時間短縮や休暇制度を普及させる	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める 夫婦の間で家事などの分担をするよう十分に話し合う	
	40代 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める	労働時間短縮や休暇制度を普及させる	夫婦の間で家事などの分担をするよう十分に話し合う
	50代 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める	夫婦の間で家事などの分担をするよう十分に話し合う	労働時間短縮や休暇制度を普及させる
	60歳以上 夫婦の間で家事などの分担をするよう十分に話し合う	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める	男性が家事などに参加することに対する抵抗感をなくす
男 性	20代 労働時間短縮や休暇制度を普及させる	夫婦の間で家事などの分担をするよう十分に話し合う	男性が家事などに参加することに対する抵抗感をなくす
	30代 労働時間短縮や休暇制度を普及させる	企業中心という社会全体の仕組みを改める	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める
	40代 労働時間短縮や休暇制度を普及させる	企業中心という社会全体の仕組みを改める	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める
	50代 労働時間短縮や休暇制度を普及させる	夫婦の間で家事などの分担をするよう十分に話し合う	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める
	60歳以上 夫婦の間で家事などの分担をするよう十分に話し合う	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める	男女の男女共同参画に対する関心を高める

表：岡山県男女共同参画社会に関する県民意識調査（平成21年）

ワーク3

- 母親を対象に実施した「育児に自信がなくなること」の調査結果のグラフを参考に、父親の子育て関与度別に「育児に自信がなくなること」についてどのように思いますか？考えたことを一人ずつ順番に紹介し合ひましょう。

「育児に自信がなくなることの有無」



グラフ：岡山いきいき子どもプラン2010策定に関する県民意識調査（平成21年）

ふりかえり

- 今日、学習したことを参考に、もう一度ワーク1をやって感想を話し合ひましょう。

